

「地域キャリア教育支援協議会設置促進事業」実施報告書

1. 実施主体	
本事業を受託し、協議会の核となる自治体、もしくは経済団体等名	三重県教育委員会
2. 現状及び課題	
地域内でのキャリア教育に関する現状	平成24年度から実施している「みえの学力向上県民運動」の一環としてキャリア教育の充実に取り組んでおり、学校・家庭・地域が連携し、子供たちの学びや育ちを支える環境づくりを進めている。「三重県版ようこそ先輩」では様々な職業人を学校に招いて授業を行い、「しごと密着体験」では働く人に半日程度密着し、間近で働く姿を観察することで、子供たちが仕事に対するイメージを広げるように取り組んでいる。キャリア教育をとおして、子供たちの学ぶ意欲を高め、働くことや職業についての理解を深める機会を創出している。
地域内でのキャリア教育に関する課題	子供たちの成長・発達を支え、社会的・職業的自立を促すためには、小・中・高等学校が一貫した流れでキャリア教育を進めることが求められるが、各地域において、子供たちの発達段階に応じたキャリア教育の到達目標や学習内容を明確化している学校は、少ない状況である。子供たちのキャリア発達を促す上で大きな成果が期待できるインターンシップ等の就業体験を充実していくことが重要であり、学校と事業所が相互理解を深め、地域でキャリア教育を円滑に実施するための仕組づくりが不可欠になっている。
3. 委託内容に対する取組	
(1) 学校におけるキャリア教育に対する支援を目的として、地域の関係者が参画する会議体の設置及び運営	
地域の推進体制 (図などを用いて地域全体の体制が分かるように示すこと)	<p>The diagram illustrates the organizational structure for career education support. At the top is the 三重県キャリア教育支援協議会 (Shiga Career Education Support Association), which includes the Education Committee, Employment/Economic Department, Labor Bureau, Chamber of Commerce and Industry Federation, Business Association, Industry Education Promotion Association, Shiga University Regional Strategy Center, and NPO. Below this are two main objectives: 'Career education support information exchange and diverse publicity/promotion' and 'Clarification of career education promotion policies and roles'. These lead to the キャリア教育推進地域連携会議 (県内7地域) (Career Education Promotion Regional Cooperation Meeting) across seven regions: ①北勢 (桑名・四日市), ②鈴鹿・亀山, ③津, ④松阪, ⑤南勢志摩 (伊勢・鳥羽), ⑥伊賀, ⑦東紀州. This meeting oversees the 商工会議所 (Chamber of Commerce and Industry), ハローワーク (Hello Work), 商工会 (Chamber of Commerce), 市町教育委員会 (City/Town Education Committee), and 市町産業振興課 (City/Town Industry Promotion Section). The structure then branches into 学校 (Schools) and 地域・産業界 (Local Industry). The school side involves 学生 (Students) and 教職員 (Teachers/Staff). The industry side involves 経営者 (Managers) and 従業員 (Employees). A central dashed box lists activities: 'Internship/Workplace Experience', 'Workplace/Factory Visits', 'Shiga County Welcome to Senpai', and 'Operation of Career Advancement Seminars'. At the bottom, NPO法人アトリオ (NPO Atrio) and 三重大学地域戦略センター (Shiga University Regional Strategy Center) are shown as supporting entities.</p>

	団体名	役割
協議会の構成	三重県商工会議所連合会	中小企業振興、地域振興
	三重県経営者協会	企業経営、人事労務に関する情報交換
	三重県雇用経済部	若者就労支援
	三重労働局(各ハローワーク)	学卒者就職支援
	三重県産業教育振興会	産業教育振興、人材育成
	三重大学地域戦略センター	キャリアアップセミナー運営
	NPO法人アトリオ	広域公募型「しごと密着体験」運営
目標	<p>三重の子供たちが、働くことや職業についての理解を深め、将来自立した社会人として人生設計し、積極的に社会参画できるようにするため、経済団体や行政機関をはじめ、大学やNPO等の多様な主体が一体となって、キャリア教育推進のためのネットワークを構築し、三重県全体及び各地域において、地域の教育資源を有効活用し、学校と地域社会が積極的にキャリア教育を推進する。</p>	
方針	<p>三重のキャリア教育推進のために関係機関による連絡会議を開催し、関係機関がこれまで実践してきたキャリア教育支援の内容を情報共有するとともに、インターンシップ等の就業体験の拡充をはじめ、今後キャリア教育を充実していく上でより効果が高まる実施方法を検討する。就職をめぐる環境が大きく変容する中、子供たちが地域・事業所の理解を深めることができる機会を積極的に創出するとともに、就職を希望する高校生等の進路実現を図る。</p>	
事業の自立的かつ発展的な運営体制	<p>地域の教育力を活かして社会全体でキャリア教育の充実を図るため、三重のキャリア教育推進に向けた方針・役割を明確化し、学校にキャリア教育支援の情報を提供するとともに、事業所にキャリア教育支援についての理解促進を図り、三重県全体のキャリア教育の推進体制を構築する。また、小・中・高・大の異なる校種間で相互に取組の理解を深め、児童・生徒・学生が交流する機会をつくとともに、学校と産業界が協同して実践交流を行うことで、地域でキャリア教育を円滑に実施するための仕組みをつくる。</p>	
(2)学校の教育活動に対して行われる、社会人講師の派遣や企業等が作成する一定の教育コンテンツの提供などによる支援の促進		
①支援を提案する支援提供者を開拓すること		
<p>インターンシップコーディネーター(1月～2月に2人任用)を活用し、インターンシップの受入れをはじめ、従業員を社会人講師として学校に派遣できる事業所や社員研修プログラム等の提供可能な事業所の開拓を行った。</p>		
②支援に関する提案を学校に提示すること。		
<p>①の内容について、県教育委員会Webページの職場体験・インターンシップ受入事業所情報に掲載して学校が活用できるようにするため、システムの更新を行い、2月に開催したキャリア教育実践交流会、就業体験実践交流会において、小・中・高等学校の担当者に積極的に活用していくよう説明を行った。</p>		
③個々の学校のニーズを把握し、そのニーズに応じて支援提供者による提案を紹介すること(マッチング)。		
<p>子供たちが異年齢で交流することや地域活動に参加することが少なくなっている中、県内7地域でキャリア教育推進地域連携会議を開催し、学校と事業所が連携したキャリア教育の充実方策について相互理解を深めた。</p>		
(3)学校の教育活動として校外で実施される職場見学、職場体験活動及びインターンシップ等に対する支援の促進		
①インターンシップ等の実施場所として児童生徒の受入れを提案する支援提供者を開拓すること。		
<p>インターンシップコーディネーターを活用し、インターンシップに加え、三重県において推進している「しごと密着体験」の受入れに協力可能な事業所を積極的に開拓するとともに、商工会議所やNPOと連携し、新たに取り組む学校や事業所に対して導入時の支援を行った。</p>		
②インターンシップ等に関する支援提供者の提案を学校に提示すること。		
<p>①で開拓した内容について、県教育委員会Webページの職場体験・インターンシップ受入事業所情報に掲載するとともに、キャリア教育推進地域連携会議等の場で学校や事業所の担当者が今後のインターンシップの在り方等について情報交換を進めた。</p>		

③個々の学校のニーズを把握し、そのニーズに応じて支援提供者による提案を紹介すること(マッチング)。

インターンシップについては、学校ごとに取り組み方が異なることから、現状を把握し、地域や学校の実態に応じた効果の高い支援が実現できるように調整を行っている。若者たちの職業選択の幅が狭まっている傾向があり、求人と求職のミスマッチや早期離職となっているケースが生じていることに留意し、地域の中小企業をはじめ、人材ニーズの高い職種・業種の理解促進を図ることができるよう、今後も取り組んでいく。

(4)その他の取組

①三重県商工会議所連合会・三重県産業教育振興会との連携により、県内7地域で「キャリア教育推進地域連携会議」を開催し、発達の段階に応じた体系的なキャリア教育の充実や雇用のミスマッチ解消に向けた連携の強化について協議した。

②NPO法人のコーディネイトにより、冬休みを利用して広域公募型「しごと密着体験」を行い、小・中・高等学校の児童生徒28人が県内12事業所で体験を行った。

③三重大学地域戦略センターとの連携により、中学生、高校生、大学生を対象としたキャリアアップセミナーを2地域(桑名・津)で行い、生徒が講師の話を聞いてグループ討議・発表を行い、社会で働く意味や将来の進路について深く考える活動を行った。

④三重県経営者協会との連携により、産学就職情報交流会を行い、企業・学校が求める・育てる人材像を明確にすることの意義を共に学ぶ機会となった。

4. 計画・スケジュール

実施時期	実施内容
11月10日	キャリア教育支援協議会の設置
12月19日	桑名市学生セミナーの開催<発表・話し合い> (三重大学地域戦略センターとの連携)
12月24日	三重県高等学校キャリア教育研修会<文部科学省長田調査官による講演等>
12月26日	広域公募型「しごと密着体験」の開催(NPO法人アトリオとの連携)
1月1日	インターンシップコーディネーターの任用<3月10日まで>
1月18日	桑名市学生セミナーの開催<講演・まち歩き> (三重大学地域戦略センターとの連携)
2月4日・5日	産学就職情報交流会の開催 於:鳥羽シーサイドホテル (三重県経営者協会との連携)
2月7日	キャリア教育充実に関する調査 (小・中・高等学校、関係機関)
2月18日	職場体験受入企業等感謝状授与式、キャリア教育及び就業体験実践交流会の開催
2月19日	桑名市学生セミナーの開催 (市長への提言、三重大学地域戦略センターとの連携)
2月27日~	キャリア教育推進地域連携会議の開催<7地域>
3月27日	(三重県商工会議所連合会、雇用経済部、労働局、産業教育振興会との連携)
3月20日	キャリア教育支援協議会連絡会議の開催<関係機関実務担当者参加>
3月26日	地域が応援する学生のためのキャリアアップセミナー 於:ホテルグリーンパーク津 (三重大学地域戦略センターとの連携)
3月28日	協力事業所へのキャリア教育支援拡充に向けた文書発信(1,630社)

5. 協議会の成果と課題

<p>※計画段階で示していた検証方法等を踏まえ、客観的・具体的に記載すること。 ※成果を踏まえた今後の課題についてもあわせて記載すること。</p>	<p>毎年公立小・中・高等学校を対象に実施する「キャリア教育充実に関する調査」のうち、次の5項目で検証したところ、いずれも前年に比べ、実施した学校の割合が向上した。</p> <ol style="list-style-type: none"> キャリア教育の全体計画の作成 平成24年度:52.9%→平成25年度:72.4% キャリア教育の年間指導計画の作成 平成24年度:44.5%→平成25年度:61.4% 社会人講師を活用したキャリア教育の取組 平成24年度:55.8%→平成25年度:63.2% 異校種が連携したキャリア教育に関する取組 平成24年度:29.6%→平成25年度:45.2% キャリア教育の取組に関する児童生徒の意識調査や自己評価の実施 平成24年度:37.8%→平成25年度:44.7% <p>三重のキャリア教育支援に関わる多様な関係者がネットワークを構築することにより、地域の教育資源を有効活用することができ、効果的なキャリア教育が実践できている。 今後さらに、地域において小・中・高等学校間の系統性を確保し、各学校段階におけるキャリア教育の推進に向けて取り組んでいきたい。</p>
---	---